

目次

第1編 Bread-and-butter

【名詞】 1 バター付きのパン。

【形容詞】 1 生計を立てるための。 2 平凡な、日常の。

第1部 不整脈

■ 1章 心房細動 [AF] ----- 2 [香坂 俊, 鈴木健樹]

極論1 心房細動は絶対的に不整 4

極論2 クジラはみんな心房細胞 8

極論3 脈が異なるなら症状も不一致 11

極論4 心房細動は「脳」を治療する 14

極論5 やはり全身を診ることが大事！ 20

コラム1 AFとそのほかの上室性頻脈や徐脈性不整脈 6

コラム2 心房細動は心房細動を呼ぶ (“AF begets AF”) 13

コラム3 心房細動の起源の話 17

コラム4 心房細動がほかの疾患に合併している場合の抗凝固療法 22



■ 2章 致死性心室性不整脈 (心室細動 [VF]・心室頻拍 [VT])

----- 23 [永井利幸・香坂 俊]

極論1 心室細動や脈なし心室頻拍が視界に入ったら、何も考えずにまず止める 28

極論2 原因疾患はとりあえず冠動脈疾患を考える 31

極論3 抗不整脈薬だけが治療ではない 40

極論4 ICD は決して万能ではない 43

コラム1 ACLS を初期研修医に義務化する意義 27

コラム2 アミオダロン独特の副作用にはどんなものがあるか？ 42

コラム3 皮下植え込み型除細動器 [S-ICD] 43

コラム4 electrical storm (電気の嵐) 46

極論・今昔物語 人生のコーナーストーン 47

■ 3章 心臓にまつわる^{デバイス}器械 [device]

----- 48 [鈴木健樹・香坂 俊]

極論1 ベースメーカーの適応は伝導障害；遅すぎる心臓 49

極論2 モードよりもレート；心拍数の設定に注目 51

極論3 ベースメーカーは徐脈を、ICD は頻脈を 53

極論4 これからは生理的ペーシング [physiologic pacing] の時代か？ 57

コラム1 右室のペースメーカーは常に非同期？ 59

コラム2 リードレスペースメーカー 60

極論・今昔物語 リズムコントロールに注目！ 61

第2部 虚血性心疾患

■ 4章 急性冠動脈症候群 [ACS] ----- 62 [永井利幸・香坂 俊]

極論1 ACSが頭をよぎったら心電図。そこでST上昇を見たら
緊急カテーテル検査 64

極論2 非ST上昇のACSなら落ちついてリスク評価を！ 67

極論3 ニトロよりもアスピリンやスタチンを外さない 69

極論4 身体所見が合併症を救う (日が来ます) 73

コラム1 バイオマーカーの進歩 69

■ 5章 心カテ [cardiac catheterization]

----- 80 [大家理伸・香坂 俊]

- 極論1 右心カテで心臓をスカウター 81
- 極論2 電車(カテ)よりもレール(ワイヤー)を先に、
あとは止血を意識して 86
- 極論3 先端部まで届く血管はLADだけ 94
- 極論4 病棟では何をおいても出血を見逃さない 97

コラム1 遠位橈骨動脈アプローチ 89

■ 6章 冠動脈インターベンション [PCI]

----- 103 [馬崎 徹・香坂 俊]

- 極論1 循環器内科医の「眼」よりも信用できるもの 104
 - 極論2 スtent「だけ」がバルーンを越えた 116
 - 極論3 バルーンやstentのサイズはどう決めるのか? 120
 - 極論4 抗血栓薬をどう扱うか? ヘパリンとDAPTの扱いについて 123
- ミニチャプター 下肢の血管内治療[EVT] 128

コラム1 FFR計測前の準備:最大限、血管を開くには 107
コラム2 インターベンション医の立場から見たISCHEMIA試験 116
コラム3 DCB 118
コラム4 危険な病変シリーズ 122
コラム5 STOPDAPT-2試験について 125
コラム6 リアルなDAPTの中止要請シナリオ 127

極論・今昔物語 循環器疾患と睡眠呼吸障害 133

■ 7章 動脈硬化 [arteriosclerosis] - 134 [高橋賢至・香坂 俊]

- 極論1 動脈は燃えている 134
- 極論2 予防に勝る治療なし;一次予防と二次予防 136
- 極論3 動脈硬化の治療;まずはABC 138
- 極論4 動脈硬化の治療;ABCに続いてDS 143

コラム1 敵を知り、己を知る;正しい動脈硬化の検査法とは? 135
コラム2 アスピリンのジレンマ? 139
コラム3 糖尿病についてひと言だけ 149

第3部 心不全と弁膜症

■ 8章 急性心不全 [AHF] ----- 150 [香坂 俊・村木浩司]

- 極論1 肺炎か? 心不全か? それの問題だ 150
- 極論2 BNPはトロポニンに非ず 153
- 極論3 心不全管理は虚血の除外から 157
- 極論4 心臓を頑張らせるより休ませろ 159

コラム1 心不全の原因として覚えておくとよい語呂合わせ-Failure 153
コラム2 日本での考え方:心不全をすべて捕まえる 157
コラム3 HFpEF:多彩な心不全像,そのさらに裏側から 163
コラム4 カテコラミンはあくまでも必要悪 164

極論・今昔物語 循環器内科の魅力 166

■ 9章 弁膜症 [valvular heart] ----- 167 [水野 篤・香坂 俊]

- 極論1 それは解剖から始まった 167
- 極論2 弁以外の構造にも目を配る 169
- 極論3 弁膜症の顔色はこまめに窺う 177
- 極論4 弁膜症は芸術(アート)である 179

コラム1 僧帽弁逸脱症(mitral valve prolapse)と過剰診断の歴史 169
コラム2 解剖学的異常は薬物治療で治せるのか? 175
コラム3 三尖弁の謎 179

極論・今昔物語 本当に興味深い真実 182

第2編 Zebra

【名詞】 1 (動物学) シマウマ (アフリカ産). 2 (医学) 稀な診断*.

* "When you hear hoofbeats behind you, don't expect to see a zebra." という警句に由来。「ひづめの音が聞こえれば普通の馬であることがほとんどであり、シマウマではない」つまり、「稀な診断を追いかけるよりは、コモンな疾患をまず考えよ」ということ。

第4部 その他の疾患

■ 10章 失神 [syncope] ----- 184 [貞廣威太郎・香坂 俊]

- 極論1 誰でも失神する可能性がある 185
- 極論2 問診で勝負がつかなければ、(たぶん) 迷宮入り 188
- 極論3 神経調節性か? 心原性か? そこが問題だ 192
- 極論4 治療は常に原疾患へ、失神そのものへの治療は存在しえない 199

コラム1 そもそも失神とは何か 187
コラム2 失神診療の変遷 191
コラム3 先天性QT延長症候群と失神 191

極論・今昔物語 Do No Harm 202

■ 11章 感染性心内膜炎 [IE] ----- 203 [村木浩司・香坂 俊]

- 極論1 「稀」な疾患ではなく、「よく」見逃す疾患 203
- 極論2 感染性心内膜炎を疑うには、発熱と心雑音で事足りる 205
- 極論3 抗菌薬を「投資」する場合、その運用はガイドラインに沿って 215
- 極論4 抗菌薬の予防投与は必要、ただし症例を選択して 219

コラム1 感染性心内膜炎と歯科治療 205
コラム2 血液培養の正しい手順 211
コラム3 IEによる塞栓症 214
コラム4 血液培養結果から判断する治療方針 216
コラム5 IE治療に関する各種ガイドライン 217

■ 12章 急性肺血栓塞栓症 [PTE] ----- 222 [宗形昌儒・香坂 俊]

- 極論1 すべての胸痛でPTEを思い浮かべる 222
- 極論2 疑ったらずスコア化を 224
- 極論3 Dダイマーと造影CTは診療のセンスが試される 228
- 極論4 治療は本当の意味で血液をサラサラに 233

コラム1 失神患者ではPTEを疑え!? 226
コラム2 奇異性塞栓症 228
コラム3 急性大動脈解離 (AD) 232
コラム4 血栓溶解療法 238

極論・今昔物語 循環器疾患克服という夢... 239

■ 13章 心膜/心筋疾患 [pericardial/myocardial disease] ----- 240 [永井利幸・香坂 俊]

- 極論1 心膜疾患の診断は頸静脈で 241
- 極論2 収縮性心膜炎と拘束型心筋症の鑑別は専門医への登竜門 244
- 極論3 心嚢液貯留≠心タンポナーデ 248
- 極論4 原因不明の心不全や心電図変化は、急性心筋炎を疑え! 252

コラム1 頸静脈診察でX谷、Y谷の急激な下降を見つけるコツは? 243
コラム2 収縮性心膜炎の原因 244
コラム3 収縮性心膜炎の治療はミカンの皮を剥くように? 247
コラム4 痛かった症例 256

